

KENWOOD

タッチパネル8インチワイドTV

LZ-8300

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。

また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド
KENWOOD CORPORATION



ご使用のまえに

❖目次

安全上のご注意	4	TVコントロール画面の操作	10
基本操作	6	TVコントロール画面の操作手順	
電源をオン/オフする		各キーの操作	
モニターの映像を切り替える		チャンネルを選ぶ	
スピーカーの音量を調整する		プリセットバンドを切り替える	
プリセットバンドを切り替える		選局モードを設定する	
チャンネルを選ぶ		自動的にチャンネルをメモリーする	
モニターの画面モードを切り替える		好みのチャンネルをメモリーする	
スピーカーの音声モードを切り替える		メモリーしたチャンネルを呼び出す	
AV出力モードを切り替える		主/副音声を切り替える	
スクリーン設定画面の操作	9	システム設定画面の操作	12
スクリーン設定の手順		システム設定の手順	
各項目の操作		各項目の操作	
明るさを調整する		AV入力1モードを設定する	
色合いを調整する		AV入力2モードを設定する	
色の濃さを調整する		AV出力モードを切り替える	
コントラストを調整する		操作確認音を設定する	
黒レベルを調整する		カーステレオで本機の音声を聴く	
周囲が暗いときの明るさを調整する		タッチパネル調整画面の操作	14
		タッチパネル調整の手順	
		リモコンからの操作	15
		故障かな?と思ったら	17
		保証とアフターサービス	18
		仕様一覧	19

❖安全走行のために

走行中はテレビやビデオの映像を見ることはできません。安全な場所に駐車してパーキングブレーキをセットしてからお楽しみください。

(走行中にテレビやビデオの映像に切り替えると“ATTENTION”と表示されます。)

❖バッテリー上がりを防ぐため

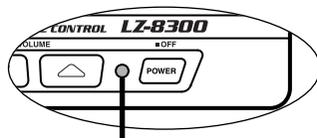
エンジンをかけないで、ACC ONの位置にして本機を使用しますと、バッテリーが消耗します。エンジンをかけてからご使用ください。

❖リセットボタンについて

● 取り付け直後やバッテリーを交換したときは、リセットボタンをボールペンの先などで押してください。

● ご使用中にセットの異常にお気づきのときは、リセットボタンを押してください。

それでも正常な状態に戻らないときは、そのままの状態でお買い上げの販売店、または最寄りのケンウッドサービスセンター、営業所へお問い合わせください。



リセットボタン

なお、リセットボタンを押しても、セットアップ画面等の設定は、初期の状態には戻りません。

❖保管とお手入れ

● ユニットを高温の場所に放置しないでください。

● パネルやスクリーンが汚れたときには、クリーニングクロスや、やわらかい布で拭きしてください。固い布やシンナー、アルコールなどの揮発性のもの拭くと、キズがついたり、塗装面が剥げたり、文字が消えてしまう場合があります。

● 脱落事故を防止するため、モニターユニットがスタンドにしっかりと固定されているかを確認してください。

❖低温時の画面の明るさについて

冬季などモニターユニットの温度が下がっている場合、液晶パネルの性質上通常より暗くなります。本機の温度が上がると通常の明るさに戻ります。

❖本書の読みかた

モニターユニットのボタンを操作する際にボタンがどこにあるのか…、位置を表すためのマークです。
※タッチするキーは各画面を参照してください。

1秒または2秒以上押す（またはタッチし続ける）

動作が始まるまで、または画面の表示が変わるまでボタンを押し続ける（またはタッチし続ける）ことを表します。

<モニターのキー操作>

<タッチキーの操作>



短かく押す（またはタッチする）

ボタンをチョンと押す（またはタッチ）ことを表します。

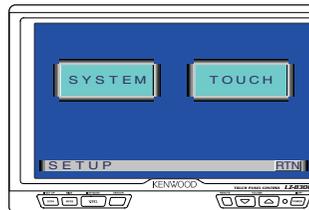
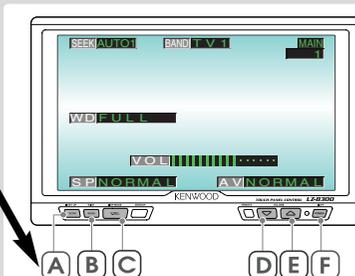
<モニターのキー操作>

<タッチキーの操作>



メモマーク

本マークは使用上の注意事項や機能の制限、使い方のアドバイスを表します。



セットアップメニュー画面

システム設定の手順

1 セットアップメニュー画面を表示します



セットアップメニュー画面が表示するまで押し続けます。

2 システム設定画面を表示します



3 システムを設定します



設定したいキーにタッチします。
● 画面下の [] にタッチすると、システム設定画面-2に切り替わります。
● 画面下の [] にタッチすると、システム設定画面-1に戻ります。

各項目の操作

AV入力1モードを設定する [AV-IN1]

AV入力1端子に接続する機器に合わせた入力モードを設定します。

[VD]	ビデオモードの設定になります。AV入力端子1にビデオデッキなどを接続するとき。
[NAV]	ナビゲーションモードの設定になります。AV入力端子1にナビゲーションユニットを接続するとき。
[OFF]	オフモードの設定になります。AV入力端子1に何も接続しないとき。

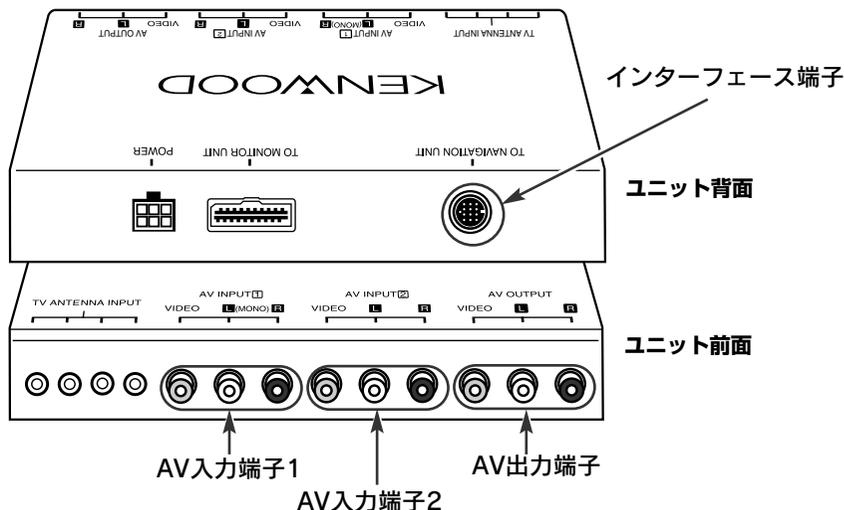
- インターフェイス端子にナビゲーションユニットを接続している場合は「NAV」以外の設定にしてください
- AV入力1端子にもナビゲーションシステムを接続する場合に、AV入力1端子のナビゲーション映像を映し出すときは「NAV」の設定にしてください。
- [VD] に設定している時は、パークイングブレーキをかないと、AV入力1端子に接続された機器からの映像は映りません。
- AV入力1端子に何も接続しない場合は「OFF」にしてください。

AV入力2モードを設定する [AV-IN2]

❖TVチューナーユニットの映像/音声端子名称について

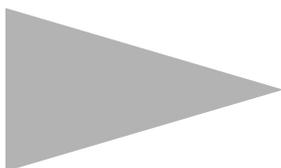
TVチューナーユニットの映像/音声入出力端子は下図のようになっています。

本書での端子名の呼びかたは下図と合わせていますので、実際の表示とは異なります。



本取扱説明書の操作画面は説明用に作成したものです。実際の画面と異なります。

安全上のご注意



ご使用の皆様へ

安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため
「安全上のご注意」をご使用前に
よくお読みください。

絵表示について：

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為にいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容を示しています。

絵表示の例



注意

△ 記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。近傍に具体的な注意内容が描かれています。



禁止

⊘ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

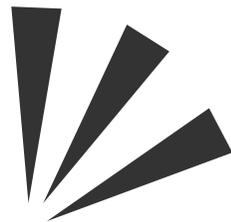


実施

Ⓢ 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。近傍に具体的な指示内容が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

交通事故の発生を防ぐため、必ず以下の事項をお守り下さい。



警告



実施

前方不注意による交通事故など防ぐため、ナビゲーション画面を注視する時間は、必要最小限としてください。

また、以下のような行為をするときは、必ず、安全な場所に車を停車させてから、行ってください。

- ・テレビやビデオを見る
- ・登録や各設定などの操作



実施

運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。



実施

以下のような異常があった場合は、直ちに使用を中止し、購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所へご相談ください。そのまま使用すると、火災その他の事故の原因となります。

- 音が出ない
- ディスプレイが表示されない
- 異物が入った
- 水がかかった
- 煙が出る
- 変な匂いがする



実施

修理は必ず購入店、ケンウッドサービスセンター/サービスステーション、または営業所にご依頼ください。お客様による修理は、火災その他の事故の原因となります。



禁止

製品の分解や改造はしないでください。火災その他の事故の原因となります。



実施

本製品を車載用以外の用途で使用しないでください。

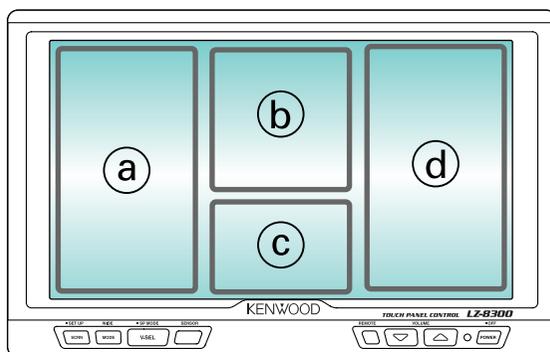
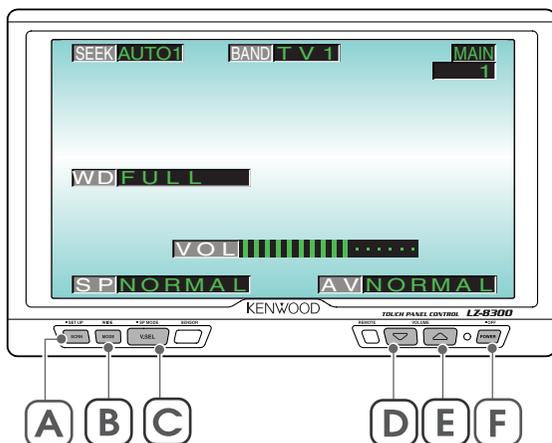
注意



実施

- ガラス部品を使用している製品を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。割れてけがをするおそれがあります。
- 液晶を使用している製品が衝撃等により破損した場合、液晶液に触れないでください。生命に危険を及ぼすおそれがあります。液晶液が手足など身体や、衣服に付いた場合は、ただちに石鹼で洗い落としてください。

基本操作



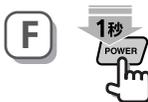
電源をオン/オフする

▶ 本機の電源を入れる



押すと本機の電源が入ります。

▶ 本機の電源を切る



押し続けると本機の電源が切れます。

モニター映像を切り替える

本機のモニターの映像を切り替えます。



押すたびに映像が右図のように切り替わります。



- 「システム設定」により切り替わる映像が追加されます。【▶ P12 「AV入力1モードを設定する」「AV入力2モードを設定する」】
- テレビやビデオの映像は、パーキングブレーキを引かないと映りません。
- インターフェース端子に接続されたナビゲーションユニットの映像が出ない場合は、「AV入力1モード」の設定が「NAV」になっていないか確認してください。
- インターフェース端子にナビゲーションユニットが正しく接続されていない、または、ナビゲーションユニットが正しく動作していない場合は、「NAVIGATION OFF」と表示されます。

スピーカーの音量を調整する

内蔵スピーカーの音量を調整します。

▶ 音量を大きくする



押すたびに音量が上がります。

▶ 音量を小さくする



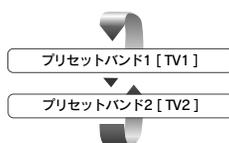
押すたびに音量が下がります。

プリセットバンドを切り替える

8つのチャンネルをメモリーできるプリセットバンドをTV1とTV2から選択します。【▶ P11】



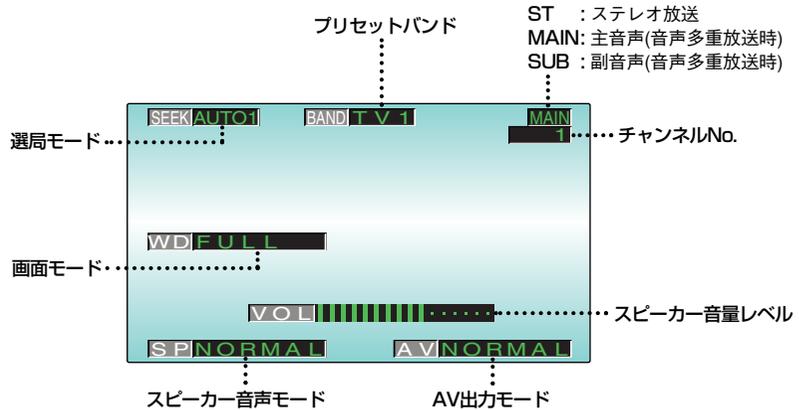
モニターパネルの中央上部分にタッチします。タッチするたびに、プリセットバンドが右図のように切り替わります。



オンスクリーン表示

モニターユニットのボタンを操作したときに、チャンネルNo.や各モードの状態などが一次的に映像画面上に表示されます。

(各モードの表示は各操作の説明をご覧ください。)



チャンネルを選ぶ

受信するチャンネルを選びます。

▶チャンネルを上げる



モニターパネルの右部分にタッチします。

▶チャンネルを下げる



モニターパネルの左部分にタッチします。

選局モードの設定により、選局動作は以下のようになります。

- 選局モードが[AUTO1]のときは・・・
受信状態の良いチャンネルを自動的に探して受信します。
- 選局モードが[AUTO2]のときは・・・
現在選択しているプリセットバンド内にメモリーされているチャンネルをプリセット番号順に切り替えます。
- 選局モードが[MANU]のときは・・・
1チャンネルずつチャンネルが切り替わります。

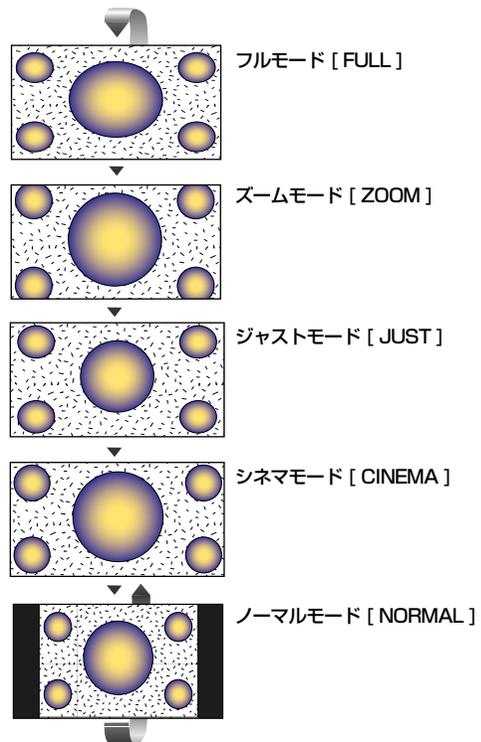
- 選局モードは「TVコントロール画面」で切り替えられます。【P11「選局モードを設定する」】
- プリセットバンドのメモリーチャンネルは「TVコントロール画面」で変更することができます。【P11「自動的にチャンネルをメモリーする」 / 「好みのチャンネルをメモリーする」】

モニターの画面モードを切り替える

モニターの画面モードを選択します。

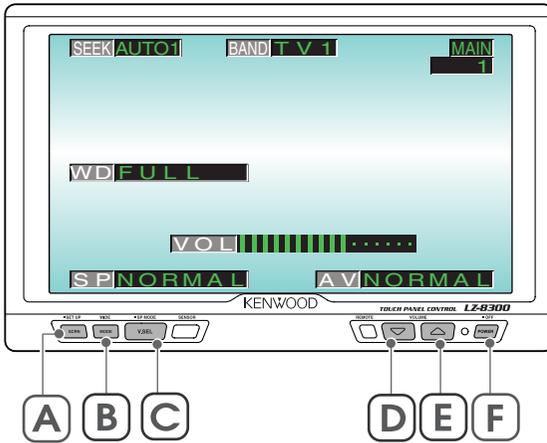


押すたびに画面モードが以下のように切り替わります。



- インターフェース端子からのナビゲーション映像はフルモード固定になります。
- 画面モードはテレビ、ビデオ映像ごとに設定できます。

基本操作 (つづき)



スピーカーの音声モードを切り替える

内蔵スピーカーの音声を、モニター映像とは別に選択できます。



1秒以上押すたびに音声が以下のように切り替わります。



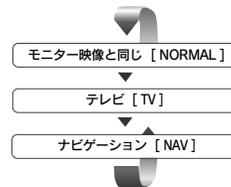
- 「システム設定」により切り替わる音声追加されます。
【 ← P12 「AV入力1モードを設定する」 「AV入力2モードを設定する」】

AV出力モードを切り替える

AV出力端子に接続した後部座席用モニターなどの映像や音声を、本機のモニター映像とは別に選択出来ます。
(FMトランスミッターの音声も同様に切り替わります。)

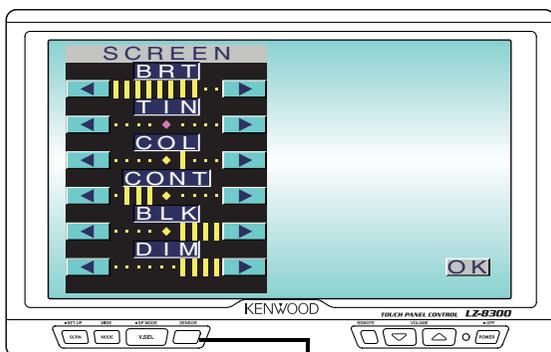


押すたびにAV出力端子の映像/音声とFMトランスミッターの音声が以下のように切り替わります。



- 「システム設定」により切り替わる映像/音声追加されます。
【 ← P12 「AV入力1モードを設定する」 「AV入力2モードを設定する」】
- AV出力モードは「システム設定」からも選択できます。
【 ← P13 「AV出力モードを切り替える」】
- FMトランスミッターを使用するときは「システム設定」で機能をオンして下さい。
【 ← P13 「カーステレオで本機の音声を聴く」】
- インターフェース端子からのナビゲーション映像はAV出力端子からは出力されません。

スクリーン設定画面の操作



スクリーン設定画面 ディマーセンサー

スクリーン設定の手順

1 スクリーン設定画面を表示します



スクリーン設定画面が映像上に表示されます。

2 各項目の設定を変えます



3 設定を終了します



または、10秒間何も操作しないでおきます。

- 各項目の設定は映像モード別にメモリーできます。

各項目の操作

明るさを調整する [BRT]

画面の明るさを調整します。

映像が暗くなります。 映像が明るくなります。

- お買い上げ時は一番明るい状態に設定されています。

色合いを調整する [TIN]

画面の肌色を調整します。

映像の赤色が強くなります。 映像の緑色が強くなります。

- 本機内蔵の設定画面やインターフェース端子からのナビゲーション映像時は調整キーは表示されません。

色の濃さを調整する [COL]

画面の色の濃さを調整します。

映像の色が薄くなります。 映像の色が濃くなります。

- 本機内蔵の設定画面やインターフェース端子からのナビゲーション映像時は調整キーは表示されません。

コントラストを調整する [CONT]

画面のメリハリを調整します。

映像のメリハリが強くなります。 映像のメリハリが弱くなります。

黒レベルを調整する [BLK]

映像が見る角度により明暗が反転したり、白っぽくなったりする場合に調整します。

映像の黒色が強くなります。 映像の黒色が弱くなります。

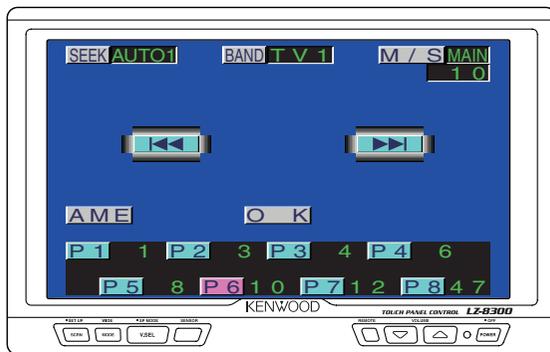
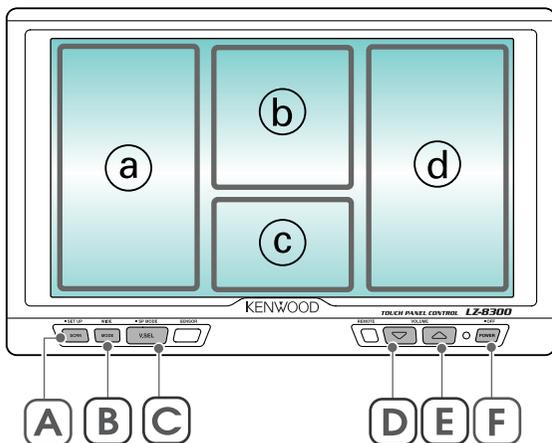
周囲が暗いときの明るさを調整する [DIM]

夜間時の減光量を調整します。

映像が暗くなります。 映像が明るくなります。

- 周囲が明るい場合は調整しても画面の明るさは変化しません。
- お買い上げ時は一番明るい状態に設定されています。
- 一番明るい状態に設定した場合は、周囲が暗くなっても「明るさを調整する」で設定した明るさから変化しません。
- 車両のイルミネーションスイッチには連動しません。(周囲の明るさはディマーセンサーで検出します。)

TVコントロール画面の操作



TVコントロール画面

TVコントロール画面の操作手順

1 モニターの映像をテレビにします



2 TVコントロール画面を表示します



モニターパネルの中央下部分にタッチすると、TVコントロール画面が表示されます。

3 TVコントロール画面のキーを操作します

4 TVコントロール画面終了します



または、10秒間何も操作しないでおきます。

各キーの操作

チャンネルを選ぶ



タッチするたびにチャンネルが上がります。



タッチするたびにチャンネルが下がります。

選局モードの設定により、選局動作は以下のようになります。

- 選局モードが[AUTO1]のときは・・・
受信状態の良いチャンネルを自動的に探して受信します。
- 選局モードが[AUTO2]のときは・・・
現在選択しているプリセットバンド内にメモリーされているチャンネルをプリセット番号順に切り替えます。
- 選局モードが[MANU]のときは・・・
1チャンネルずつチャンネルが切り替わります。

プリセットバンドを切り替える

8つのチャンネルをメモリーできるプリセットバンドをTV1とTV2から選択します。



タッチするたびに、プリセットバンドが以下のように切り替わります。

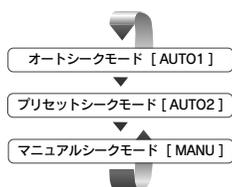


選局モードを設定する

オートシーク、プリセットシークおよびマニュアルシークから選局モードを設定します。



タッチするたびに、選局モードが以下のように切り替わります。



自動的にチャンネルをメモリーする

現在受信の良いチャンネルを自動的に選んでメモリーします。

1 メモリーするプリセットバンドを選びます



2 オートメモリーモードにします



が点滅します。

3 オートメモリーを開始します



- 8局をメモリーするか、チャンネルを一周して受信状態の良い放送局をメモリーすると、最後にメモリーしたチャンネルを受信します。
- オートメモリーできるチャンネルが見つからない場合は、オートメモリーする前のチャンネルに戻ります。
- オートメモリー中に **OK** 以外のキーにタッチすると、オートメモリー動作は解除されます。

好みのチャンネルをメモリーする

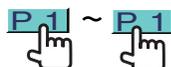
任意のチャンネルだけをメモリーします。



チャンネルを選んで、プリセットキーの横にチャンネルNo.が表示されるまでタッチし続けます。

メモリーしたチャンネルを呼び出す

プリセットバンドにメモリーされているチャンネルを呼び出します。



主/副音声を切り替える

音声多重放送の主/副音声を選択します。

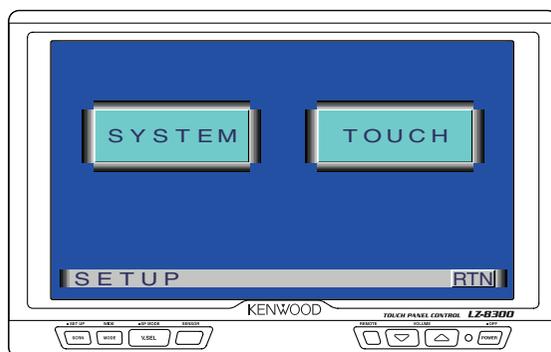
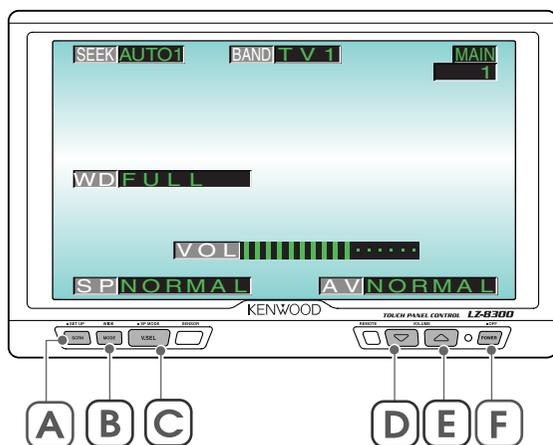


タッチするたびに、音声以下のように切り替わります。



- 主/副音声の切り替えは、音声多重放送を受信している場合に操作可能になります。

システム設定画面の操作



セットアップメニュー画面

システム設定の手順

1 セットアップメニュー画面を表示します



セットアップメニュー画面が表示するまで押し続けます。

2 システム設定画面を表示します



3 システムを設定します



設定したいキーにタッチします。

- 画面下の にタッチすると、システム設定画面-2に切り替わります。

画面下の にタッチすると、システム設定画面-1に戻ります。

4 システム設定画面を終了します



セットアップメニュー画面に戻ります。

5 セットアップメニュー画面を終了します



映像画面に戻ります。

- システム設定画面やセットアップメニュー画面は10秒間何も操作しないと、自動的に終了します。

各項目の操作

AV入力1モードを設定する [AV-IN1]

AV入力1端子に接続する機器に合わせた入力モードを設定します。

	ビデオモードの設定になります。 AV入力端子1にビデオデッキなどを接続するとき。
	ナビゲーションモードの設定になります。 AV入力端子1にナビゲーションユニットを接続するとき。
	オフモードの設定になります。 AV入力端子1に何も接続しないとき。

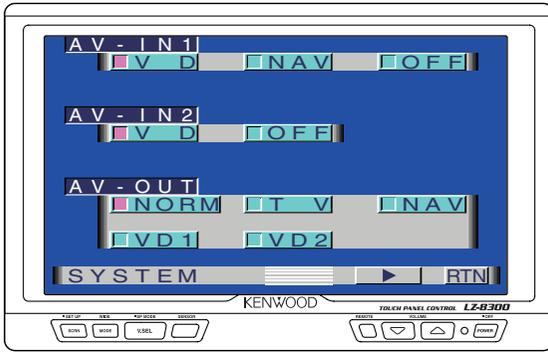
- インターフェース端子にナビゲーションユニットを接続している場合は『NAV』以外の設定にしてください。
- AV入力1端子にもナビゲーションシステムを接続している場合に、AV入力1端子のナビゲーション映像を見たいときは『NAV』の設定にしてください。
- 『VD』に設定している時は、パーキングブレーキを引かないと、AV入力1端子に接続された機器からの映像は映りません。
- AV入力1端子に何も接続しない場合は『OFF』に設定してください。

AV入力2モードを設定する [AV-IN2]

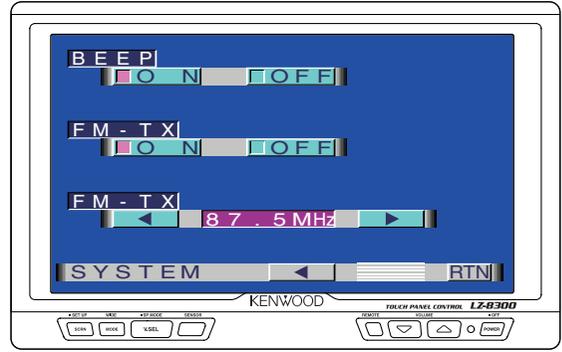
AV入力2端子に接続する機器に合わせた入力モードを設定します。

	ビデオモードの設定になります。 AV入力端子2にビデオデッキなどを接続するとき。
	オフモードの設定になります。 AV入力端子2に何も接続しないとき。

- 『VD』に設定している時は、パーキングブレーキを引かないと、AV入力2端子に接続された機器からの映像は映りません。
- AV入力2端子に何も接続しない場合は『OFF』に設定してください。

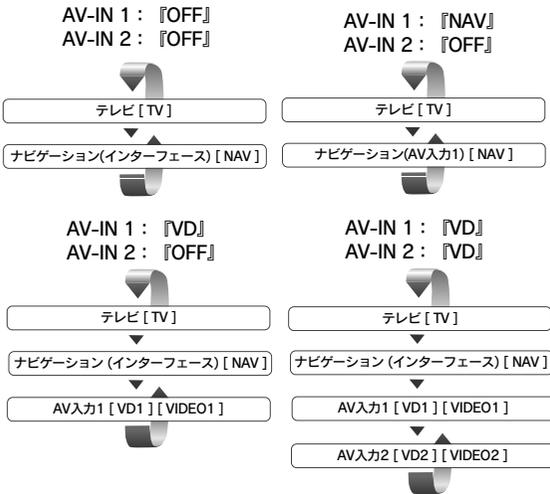


システム設定画面-1



システム設定画面-2

[AV-IN 1]と[AV-IN 2]の設定により、選択できるモニターの映像やスピーカーの音声（スピーカー音声モード）、AV出力の映像/音声（AV出力モード）は以下ようになります。



AV出力モードを切り替える [AV-OUT]

AV出力端子に接続した後部座席用モニターなどの映像や音声を、本機のモニター映像とは別に選択出来ます。(FMトランスミッターの音声も同様に切り替わります。)

<input checked="" type="checkbox"/> NORM	ノーマルモードになります。[NORMAL]モニターと同じ映像や音声を出力します。 ※ インターフェース端子接続のナビゲーション映像は出力されません。(音声は出力されます)
<input checked="" type="checkbox"/> T V	テレビモードになります。[TV]テレビの映像や音声を出力します。
<input checked="" type="checkbox"/> NAV	ナビゲーションモードになります。[NAV]ナビゲーションの音声を出力します。
<input checked="" type="checkbox"/> VD 1	ビデオ1モードになります。[VIDEO1]AV入力端子1からの映像や音声を出力します。 ※ 「AV-IN 1」設定が「OFF」の時は表示されません
<input checked="" type="checkbox"/> VD 2	ビデオ2モードになります。[VIDEO2]AV入力端子2からの映像や音声を出力します。 ※ 「AV-IN 2」設定が「OFF」の時は表示されません

操作確認音を設定する [BEEP]

本機を操作したときのビープ音の有無を選択します。

<input checked="" type="checkbox"/> ON	ビープ音機能がオンになります。
<input checked="" type="checkbox"/> OFF	ビープ音機能がオフになります。

カーステレオで本機の音声を聴く [FM-TX]

内蔵のFMトランスミッターを使用して、カーステレオでテレビやビデオなどの音声を聴くことができます。

1 FMトランスミッターをオンにします

<input checked="" type="checkbox"/> ON	FMトランスミッター機能がオンになります。
<input checked="" type="checkbox"/> OFF	FMトランスミッター機能がオフになります。

2 送信周波数を調整します

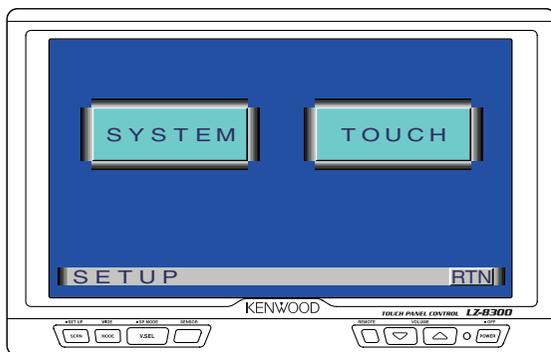
周波数が0.1 MHz 周波数が0.1 MHz
低くなります。 高くなります。

- FMトランスミッターをオフに設定している場合、周波数調整項目は表示されません。
- 送信周波数は87.5~89.9 MHzの範囲で0.1MHzずつ切り替わります。
- 地域のFM放送局やFMモジュレーター付きディスクチェンジャーなどを使用時に混信するときは、周波数を変更してください。
- カーステレオの自動選局では設定した周波数で止まらない場合があります。このような時は手動選局で周波数を合わせてください。
- FMトランスミッターの音声は車両のアンテナ位置などにより聴き取りにくい場合があります。

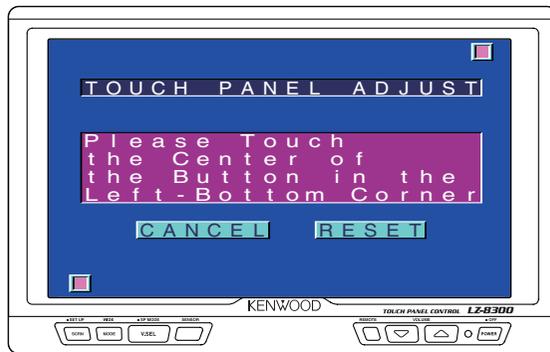
注意

FMトランスミッターの周波数とFM多重放送局の周波数が一致または近いと、混信によりVICSやD-GPS情報などが正しく受信できないことがあります。FMトランスミッターを使用しないときは、混信を避けるためFMトランスミッターをオフにしてください。

タッチパネル調整画面の操作



セットアップメニュー画面



タッチパネル調整画面

タッチパネル調整の手順

タッチしたキーと実際の動作が合わない場合に調整します。

1 セットアップメニュー画面を表示します

【 ← P12 「システム設定の手順」】

2 タッチパネル調整画面を表示します



3 左下のマークに正確にタッチします



4 右上のマークに正確にタッチします



右上のマークをタッチした時点で調整が終了し、セットアップメニュー画面に戻ります。

- 左下のボタンにタッチしないで **CANCEL** にタッチした場合は、何も補正しないでセットアップメニュー画面に戻ります。
- 左下のボタンにタッチした後に **CANCEL** へタッチすると、左下のボタンが再度表示されます。
- **RESET** にタッチすると、お買い上げ時の設定になりセットアップメニュー画面に戻ります。

タッチパネル調整をしても、タッチした位置と動作が合わないときは、**[RESET]** にタッチし、1度初期設定に戻してから、タッチパネルの動作を確認してください。

5 セットアップメニュー画面を終了します

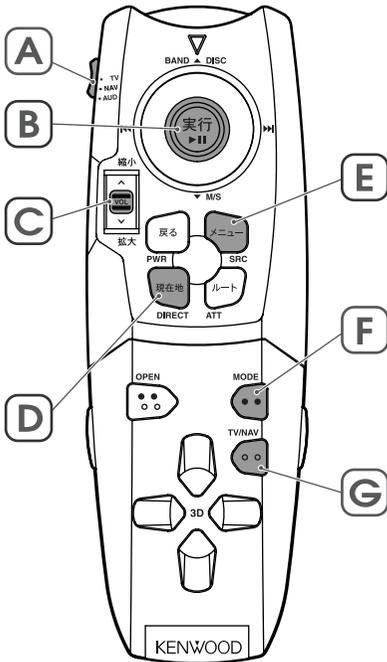


映像画面に戻ります。

- タッチパネル調整画面やセットアップメニュー画面は10秒間何も操作しないと、自動的に終了します。

リモコンからの操作

別売品のジョイスティックリモコン “NA-R500” でも本機を操作できます。



TVモードに切り替える

A  本機を操作するときは『TV』側にします。

モニター映像を切り替える [← P6]

G  押すたびに映像が切り替わります。

スピーカーの音量を調整する [← P6]

C  ● ↑ 方向へ動かすたびに音量が大きくなります。
● ↓ 方向へ動かすたびに音量が小さくなります。

モニターの画面モードを切り替える [← P7]

F  押すたびに画面モードが切り替わります。

スピーカーの音声モードを切り替える [← P8]

E  押すたびに音声切り替わります。

選局モードを設定する [← P11]

B  押すたびに選局モードが切り替わります。

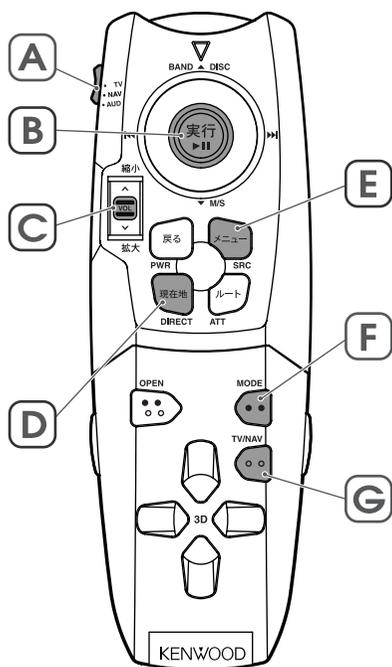
プリセットバンドを切り替える [← P6、P10]

B  ↑ 方向へ動かすたびにTV1とTV2が切り替わります。

チャンネルを選ぶ [← P7、10]

B  ● → 方向へ動かすとチャンネルが上がります。
● ← 方向へ動かすとチャンネル下がります。

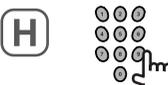
リモコンからの操作 (つづき)



チャンネルNo.を入力して選局する



1. 押すとダイレクト選局モードになります。



2. 続けてチャンネルNo.を入力します。

例：1chの場合 例：47chの場合

01

47

● 10秒以内にチャンネルNo.を入力しないと、ダイレクト選局モードは解除されます。

メモリーしたチャンネルを呼び出す [←P11]



①～⑧を押します。

主/副音声を切り替える [←P11]

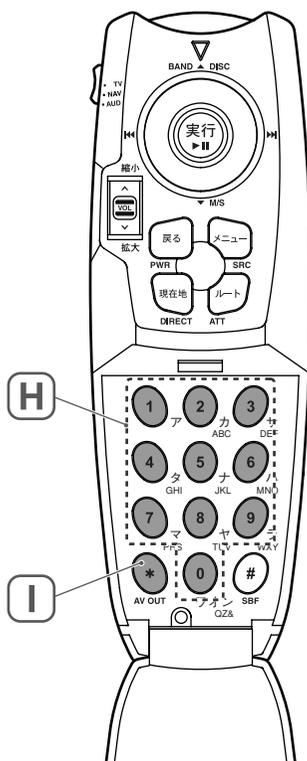


↓ 方向へ動かすたびに主音声と副音声切り替わります。

AV出力モードを切り替える [←P8、13]



押すたびに映像/音声切り替わります。



故障かな？と思ったら

ちょっとした操作ミスや配線の間違いで故障と思われることがあります。
修理を依頼される前に、次の項目をチェックしてください。

電源が入らない

ヒューズが切れている。

コード類がショートしていないことを確認して、所定容量のヒューズと交換してください。

テレビ/ビデオの映像が映らない（“ATTENTION” と表示される）

- パーキングブレーキ検出コードが配線されていない。
- パーキングブレーキを引いていない。
- 「AV-IN」の設定が「OFF」になっている。

- 取付説明書に従って、正しく接続してください。
- 安全のため、走行中はテレビやビデオの映像は映りません。パーキングブレーキを引くと映ります。
- 「VD」に設定してください。
【▶ P12 「AV入力1モードを設定する」「AV入力2モードを設定する」】

テレビの映りが悪い

- TVアンテナが正しく配線されていない。
- 電波状態が悪い場所で受信している。
- ナビゲーションユニットなどのコンピューター機器からの影響を受けている。

- TVアンテナをTVチューナーユニットに正しく接続してください。
- 電波状態の良い場所に移動して受信してみてください。
- コンピューター機器をTVチューナーユニットからできるだけ離して設置してください。

インターフェース端子に接続されたナビゲーションユニットの映像に切り替わらない

「AV入力1モード」の設定が「NAV」になっている。

「AV入力1モード」の設定を「NAV」以外にしてください。
(AV入力端子-1にナビゲーションユニットを接続している場合のみ、「NAV」に設定してください。)
【▶ P12 「AV入力1モードを設定する」】

ナビゲーション映像に切り替えると“NAVIGATION OFF” と表示される

- インターフェースケーブルが外れている。
- ナビゲーションユニットの電源コネクタが外れている。
- ナビゲーションユニットが誤動作している。

- 取付説明書を見て接続を確認してください。
- ナビゲーションユニットのリセットボタンを押してみてください。それでも直らない場合は販売店、またはケンウッドサービスへお問い合わせください。

使い初めの画面が暗い

車内の温度が低い。

モニターユニットの温度が下がっているときは、電源を入れた直後は液晶パネルの性質上、通常より画面が暗くなります。
モニターユニット温度が上がるまでしばらくお待ちください。通常の明るさに戻ります。

FMトランスミッターの音声がカーステレオから出ない

- カーステレオの電源が切れている、ボリュームを下げてすぎている。
- カーステレオ側の受信周波数が合っていない。

- カーステレオの電源をオンにし、ボリュームを適度に上げてください。
- カーステレオの受信周波数をFMトランスミッターの設定周波数に合わせてください。
【▶ P13 「カーステレオで本機の音声を聴く」】

カーステレオでFM/AM放送を聴いているときに受信感度が悪い、または雑音が入る

- FMトランスミッターの電波がFM放送局に混信している。
- TVアンテナと車両のアンテナの距離が近い。

- FMトランスミッターをオフにするか、FMトランスミッターを聴きたい放送局に影響のない周波数に設定してください。
※FM多重放送局に混信すると、VICSやD-GPS情報などが正しく受信できないことがあります。
【▶ P13 「カーステレオで本機の音声を聴く」】
- できるだけ離して設置してください。
- 本機の電源切ってください。

モニタースクリーンに画素欠けや異常点灯ある

液晶パネルは99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%の画素欠けや異常点灯する場合があります。

故障ではありません。

保証について

●保証書

この製品には、保証書を別途添付しております。
保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめの上販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

●保証期間

お買い上げの日より**1年**です。

修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったら」を参照してお調べいただき、それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にお問い合わせください。(別紙“ケンウッド全国サービス網”をご参照ください。)

修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容が全て消去されることがあります。あらかじめご了承ください。

●保証期間中は....

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所が修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。

本機以外の原因(衝撃や水分、異物の混入など)による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間経過後は....

お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により**有料**にて修理いたします。

補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後**6年**です。
(補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

●持込修理

この製品は持込修理とさせていただきます。

製品を修理に持ち込まれる際は、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。

●修理料金のしくみ (有料修理の場合は、つぎの料金が必要になります。)

- 技術料：故障した製品を正常な状態に修復するための料金です。
技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。
- 部品代：修理に使用した部品代です。
その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

なおアフターサービスについて、ご不明な点はお買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にご遠慮なくお問い合わせください。

仕様一覧

モニターユニット

画面サイズ	8.0インチワイド 176.4 mm (幅) 99.2 mm (高さ) 202 mm (対角)
表示方式	透過型TN型
駆動方式	TFTアクティブマトリクス方式
使用光源 (照明方式)	冷陰極管
画素数 (V×H)	336,960 個 (480H×RGB×234V)
有効画素	99.99 %
画素配列	RGBストライプ配列
スピーカー音声出力	1 W (40 mm× 20 mm 1コ)

TVチューナーユニット

受信チャンネル (VHF)	1~12 ch
(UHF)	13~62 ch
選局方式	PLL周波数シンセサイザー方式
復調方式	スプリットキャリア方式
アンテナ入力	4 chダイバシティ (75Ω / ミニジャック 3.5 φ)
外部映像入力レベル (RCAピン)	1 Vp-p / 75 Ω
外部音声最大入力レベル (RCAピン)	1 V / 22 kΩ
映像出力レベル (RCAピン)	1 Vp-p / 75 Ω
外部音声出力レベル (RCAピン)	500 mV / 1 kΩ
RGB入力 (専用13ピン)	アナログRGB入力 0.7 Vp-p / 75 Ω
FMトランスミッター出力周波数	87.5~89.9 MHz (0.1 MHz間隔で可変)

電源・その他

電源電圧	DC 14.4 V (11~16 V)
接地方式	マイナスアース方式
最大消費電力	27 W (通常動作時 25 W)
使用温度範囲	-10 °C ~ +60 °C
保存温度範囲	-30 °C ~ +85 °C

寸法・質量 (重さ)

モニターユニット	
外形寸法 (W×H×D)	211.3 mm × 134 mm × 30 mm (突起物含まず)
質量 (重さ)	580 g
TVチューナーユニット	
外形寸法 (W×H×D)	188 mm × 30 mm × 144.8 mm
質量 (重さ)	780 g

※これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。
※液晶パネルは99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%の画素欠けや異常点灯する場合があります。

KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒150-8501 東京都渋谷区道玄坂1-14-6

- 商品に関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンターをご利用ください。
カスタマーサポートセンター（東京）電話(03)3477-5335 FAX(03)3477-5334 〒153-0042 東京都目黒区青葉台3-17-9
（大阪）電話(06)6394-8085 FAX(06)6394-8308 〒534-0024 大阪市淀川区野中北2-1-22
受付時間：9:00～18:00（土、日、祝祭日および当社休日は休まさせていただきます。）
- アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、別紙「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービスセンター、サービスステーション、各営業所にご相談ください。